



車両後部の排気口に顔を近づけ「においがしない」「不思議だ」と興奮気味の子供たち

# あれっ…においがしないぞ

## 水素バス出前教室 室蘭でスタート

東京都大学(東京)が発売した水素燃料バスを使った水素普及啓発事業が2日、室蘭市

絵納小を皮切りに始まった。子供たちは、試乗体験などの出前教室を通し、環境に優しい次世代エネルギーに理解を深めている。

水素バスは休み時間に合わせて同小に到着、児童に公開した。子供たちは温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスを出さないバスに興味津々のよう。

排気口に顔を近づけて「においがしない」「温かい」、バスに乗り込

み「世界一のバスだ」などとにかくやか。

5年生対象の出前教室は、児童45人が4班に分かれ、バス試乗や水素実験を体験した。学校の周囲をぐるりと巡るバスの走行音の静かさに驚いたよう。車内では「水素は石油と比べ地球上のどこにでもあり、CO<sub>2</sub>を出さないエコなエネルギー」などの説明に聞き入っていた。

坪井颯汰君(5年)は「水素で温暖化を防ぐことができると思いたす」と思った。白川帆花さん(同)は「普通のバスと変わらなくてびっくり。水素について詳しく調べたい」と話していた。

同事業は室工大、東京都大、室蘭市が主催。文科省の戦略的大学連携支援事業として昨年に続き実施する。20日まで西胆振の小、中学校など28カ所で試乗会、環境学習などを開くとともに走行試験で性能データなどを集める。

(野村英史)

この記事・写真等は室蘭民報の許諾を得て転載しています  
無断で複製、送信、出版、頒布、翻訳、翻案等著作権を侵害  
する一切の行為を禁止します

東京都大学グループ  
学校法人 **五島育英会**